



日耳鼻医会 FAXニュース

平成28年7月4日発行 第240号

◎平成28年度総会開催される 理事長・副理事長は再任

6月26日(日)午後1時から東京駅近くのベルサール八重洲に於いて平成28年度定時都道府県代議員会・総会が開催された。

物故会員への黙禱の後、伊東理事長が、熊本地震支援募金が最終的に580万円余集まり、熊本県耳鼻科医会へ送った事を報告、改めて支援募金協力へのお礼を述べた。また来年は創立50周年にあたり、7月に記念式典と第42回臨床家フォーラムを予定しているので、それまでに組織の強化を成し遂げたいと述べ、さらに第1号議案に触れ、協賛金収入減のため、収支決算は150万円の赤字となっており今後とも経費削減に努めるが、活動を縮小すること無く、更なる充実を図りたいと挨拶した。

引き続き熊本県耳鼻咽喉科医会の永田雅英代議員が熊本地震被害の模様と募金へのお礼を述べた。

議長団選出の後議事に入り、上程された議案は全て承認可決され、代議員会は終了。その後直ちに総会に移り、議案を一括上程して審議、承認可決され、総会は無事終了した。なお「第4号議案定款文言の一部変更について」では、条文の中の「啓蒙」を「啓発」に、「障害者」を「障がい者」と変更された。

総会の後、江戸川大学社会学部人間心理学教授 福田一彦先生の「睡眠パターンのインパクト:健康的な眠りとはなにか」の講演が行われた。(講演要旨「かがみ」掲載予定)
「第5号議案 平成28・29年度役員選出」「第6号議案 平成28・29年度顧問委嘱」で承認された役員は以下の通り

- 理事長:伊東祐久(鹿児島)
副理事長:鈴木 徹(愛媛)、阿部博章(鳥取)、中澤 宏(東京)
理事:盛 庸(青森)、金子 裕(群馬)、桧垣清高(山梨)
坂口文雄、大津有二郎、三谷幸恵、目澤朗憲、井藤博之
矢部 武(以上 東京)、松原茂規(岐阜)、進 保政(大分)
源河朝博(沖縄)
監 事:笠原行喜(東京)、 荒川雄司(鳥取)
顧 問:横倉義武(日本医師会会長)、武見敬三(参議院議員)
羽生田俊(参議院議員)、関根惟和(徳島)、本城好春(佐賀)
藤谷昭平、清水淑郎、兼子順男(以上 東京)

＝就任のご挨拶＝
理事長 伊東祐久
6月26日の総会で平成28・29年度の役員が選任され、引き続き理事長の大役を引き受ける事になりました。前期、かねてからの課題である組織の強化などに対して成果を上げる事が出来ず、力不足を申し訳なく思うと共に改めて責任の重さを感じ、身の引き締まる思いで一杯です。

熊本地震では多くの会員から募金にご協力頂きました。改めて感謝申し上げます。今後もこのような地震が起こり得ると予想されており、それに対する備えを日頃から準備しておく必要があります。当会でも、先の東日本大震災、今回の熊本地震の経験を活かして、災害発生時に迅速に対応出来るように危機管理システムの構築を図りたいと思います。

消費税10%へのアップが先送りになりました。社会保障の充実に戻すためだったと思いますが、先送りで財源不足になり、地域で必要かつ十分な医療・介護などが切り捨てられ、また次回の診療報酬改定もマイナス改定になるのではと危惧しています。日本医師会や日本臨床分科医会代表者会議の参加団体と共に社会保障の充実を図るよう訴えて行きたいと思っております。それが耳鼻科医療の発展にも繋がると信じております。

また来年は当会の前身である日本耳鼻咽喉科医会連合会が出来て50周年になります。発足当時の理念を思い起し、これからの2年間、役員一同一致協力して、さらなる発展の為に努力して参りますので、宜しくご支援ご協力をお願い申し上げます。

～～ 第41回臨床家フォーラム ～～ 「中四国フォーラムin下関2016」御案内 —草莽崛起(そうもうくつき)—

日 時:平成28年9月18日(日)・19日(月・祝)
会 場:海峡メッセ下関 (山口県下関市豊前町3-3-1)
開 会:午後1時(受付は正午より)
分科会:9月18日(日) 午後1時15分～5時30分
①補聴器をめぐる現状と未来 -耳鼻科医はどう対応するか?- 名古屋 関谷耳鼻咽喉科 関谷芳正先生
②越境性微粒子が健康に及ぼす影響
国立病院機構 福岡病院アレルギー科 岸川禮子先生
③頭頸部超音波検査の臨床
鳥取大学耳鼻咽喉科 福原隆宏先生
④専門医としての耳鼻咽喉科・頭頸部外科開業医
大分市 佐藤クリニック 佐藤公則先生

懇親会:午後6時～
全体集会:9月19日(月・祝)午前9時～12時10分
①小児難聴と言語療法士の雇用に関して
山口市 ののはなクリニック 兼定啓子先生

- ②臨床に役立つ内耳基礎研究
山口大学耳鼻咽喉科教授 山下裕司先生
③一般講演 市民公開講座
「死」について考えてみませんか
下関市 光風園病院 副理事長 木下牧子先生

聴力検査講習会(職員対象)
9月18日(日) ①14:00～15:30 ②15:50～17:20
定員各回 16名 同じ内容
エクスカージョン
9月18日(日)8:45～12:20
海峡メッセ下関・・・赤間神宮・・・長府毛利庭園・・・
古串屋(昼食)・・・海峡メッセ下関

※案内冊子は7月中旬発送予定です。

■アレルギー疾患対策指針の枠組み了承
厚労省のアレルギー疾患対策推進協議会は6月21日、アレルギー疾患対策基本指針の枠組み案について大筋で了承した。アレルギー疾患に関する専門的な医療機関の整備などを指針に盛り込むことが固まったほか、地域ごとにアレルギー対策の拠点病院を設置すべきとの提案があった。同指針はアレルギー疾患対策基本法に基づき、より具体的なアレルギー対策を示す予定で、協議会が検討を続けている。厚労省は同日、▽居住地域にかかわらずアレルギー疾患医療を受けられるよう、専門的な医療提供機関の整備▽成育医療研究センター、国立病院機構その他の連携体制整備▽アレルギー疾患研究の推進と成果の普及・活用▽革新的な予防・診断・治療方法の開発▽学校・職場等と医療機関との連携協力体制の確保—などを盛り込んだ枠組み案を提示した。

meiji

経口用カルバペネム系抗生物質製剤 薬価標準収載

小児用細粒10%
ORAPENEM FINE GRANULES 10% FOR PEDIATRIC

注)注意—医師等の処方せんにより使用すること 略号 TBPM-PI

※【効能・効果】、【用法・用量】、【効能・効果に関連する使用上の注意】、【用法・用量に関連する使用上の注意】、【禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意】等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元
Meiji Seika ファルマ株式会社
東京都中央区京橋 2-4-16
http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/

〈製剤情報〉
Meiji Seika ファルマ株式会社 小児科部
〒104-8002 東京都中央区京橋 2-4-16
電話(03)20093-396、(03)3273-3539

作成:2013.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP: http://www.jenti.or.jp E-mail jimuj@jenti.or.jp